

JR四国グループ 中期経営計画2025の達成に向けた取組み

【2023年度第4四半期 報告書】

2024年6月14日

四国旅客鉄道株式会社

目次

本報告書は2020年3月に国土交通大臣より受領した指導文書に基づき、四半期毎に実施される国土交通省との検証結果を報告するものです。

1. 主要施策KPIの達成状況

- (1) 主要施策KPIについて
- (2) 検証項目一覧
- (3) 2023年度第4四半期の検証結果（総括）
- (4) 2023年度検証結果（総括）
- (5) 2023年度第4四半期の実績等

2. 2024年度の主要施策KPI等

- (1) 主要施策KPIについて
- (2) 検証項目一覧
- (3) 2024年度のKPI・KGI

1. 主要施策KPIの達成状況

(1) 主要施策KPIについて

中期経営計画2025の施策のうち、2023年度に取り組む主要なものについて、KPIとKGIを設定し、本検証の対象としました。

※KPI（Key Performance Indicator）とは、最終的な目標（KGI：Key Goal Indicator）を達成するための過程を計測する中間指標です。

(2) 検証項目一覧

	KPI項目
鉄道運輸収入の安定的な確保	① 鉄道運輸収入の確保 ② チケットアプリの定着・拡大 ③ ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員 ④ 利便性向上によるお客様満足の上 ⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興
非鉄道事業における 最大限の収益拡大	⑥ 連結売上高の確保 ⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高 ⑧ 四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高
生産性向上・その他	⑨ コスト削減の取組み

1. 主要施策KPIの達成状況

(3) 2023年度第4四半期（1月～3月）の検証結果（総括）

○検証項目9項目のうち、8項目でKPIを達成、1項目で不達成となりました。

○「鉄道運輸収入の安定的な確保」と「非鉄道事業における最大限の収益拡大」については、各種イベントやキャンペーンの展開、地域・期間限定やおトクな商品の設定等に取り組み、需要喚起に努めました。また、利便性向上施策にも取り組み、より便利に、快適にご利用いただけるように努めました。これらの結果、「チケットアプリの定着・拡大」についてはKPIを達成できなかったものの、その他の項目においてはKPIを達成しました。

○「生産性向上・その他」については、グループ一体でコスト削減に取り組み、KPIを達成しました。

1. 主要施策KPIの達成状況

(4) 2023年度の検証結果（総括）

○検証項目9項目のうち、7項目でKGIを達成、1項目で一部達成、1項目で不達成となりました。

○「鉄道運輸収入の安定的な確保」と「非鉄道事業における最大限の収益拡大」については、観光需要・外出需要の高まりや回復の続いたインバウンド需要に対し、各種メディアを活用した商業展開やイベント・キャンペーンの実施、価格設定の見直しなどに取り組み、収益の確保・拡大に努めました。これらの結果、「チケットアプリの定着・拡大」についてはKGIを達成できず、「『四国家のお宝』の更なる充実による観光振興」については想定した参加人数に若干届かなかったものの、その他の項目においてはKGIを達成しました。

○「生産性向上・その他」については、グループ一体でコスト削減に取り組み、KGIを達成しました。

○2024年度においても、中期経営計画2025の目標達成に向けて更なる利便性の向上、生産性の向上に資する取組みを進めるとともに、収益拡大に向けた各種施策をグループ一体となって展開してまいります。

1. (5) 2023年度第4四半期の実績等

① 鉄道運輸収入の確保

当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益確保に取り組みます。

	4Q KPI		4Q 実績		達成率
鉄道運輸収入	定期	10.6億円	定期	11.5億円	108.6%
	定期外	41.2億円	定期外	43.9億円	106.5%

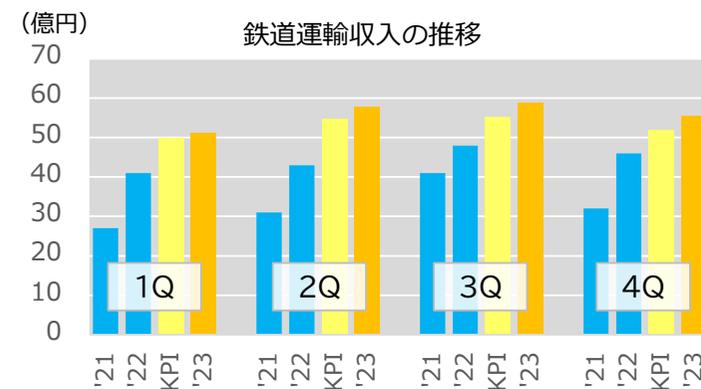
◆ 検証結果

- ・ 瀬戸大橋線ご利用3億人キャンペーンを展開し、「四国あちこちきっぷ」を発売したほか、本州方面の需要喚起に努めました。
- ・ 予讃線伊予西条～今治間、土讃線須崎～日下間開通100周年を記念し、沿線地域と協力し、イベントを開催しました。
- ・ チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」について、お客様のご利用が少ない2月に特急列車が乗り降り自由なフリーきっぷを発売することで、利用促進を図りました。
- ・ これらの取組みにより4QのKPIと2023年度KGIを達成しました。

◆ 今後の取組み

- ・ 2024年度はアフターコロナを迎え、将来に向けたベースとなる重要な年度であることから、各種営業施策を着実に実施することで収入の確保を図ります。

2023年度KGI
鉄道運輸収入212億円 (実績223億円) 《達成》



② チケットアプリの定着・拡大

2023年度から本格稼働したチケットアプリのご利用の定着・拡大に取り組みます。

	4Q KPI		4Q 実績		達成率
取扱収入	定期	280百万円	定期	112百万円	40.2%
	定期外	96百万円	定期外	74百万円	77.7%

◆ 検証結果

- ・ テレビCMや新聞広告の実施・高校新生生に対するアプリでの通学定期券購入説明会の開催・駅頭でのチラシ手渡し等により、アプリの知名度向上に努めるとともに、決済手段の拡大等の利便性向上にも取り組みました。
- ・ 取扱収入（発売額）は定期・定期外ともKPIを下回りましたが、着実に増加しており、3Q実績を上回りました。
- ・ アプリ会員数も増加しており、特に3月は過去最高の伸びとなりました。

◆ 今後の取組み

- ・ 引き続き、定期券の買換え時期に合わせたPRなど、積極的な情報発信やキャンペーンの実施を行い、チケットアプリのご利用者拡大を図ります。

	2023年度KGI 《不達成》	
取扱収入	定期	463百万円 (実績223百万円)
	定期外	299百万円 (実績247百万円)



1. (5) 2023年度第4四半期の実績等

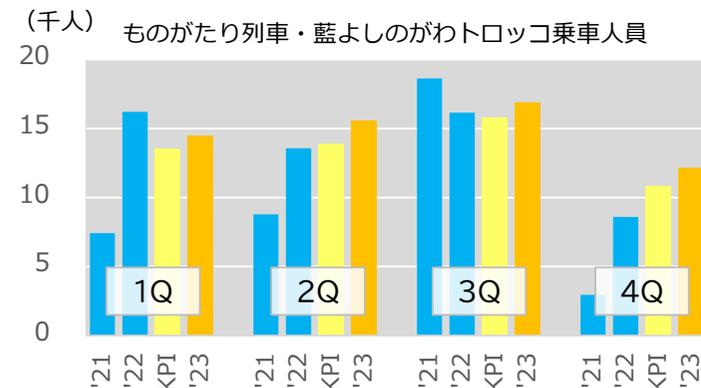
③ ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員

魅力的な観光列車やトロッコ列車の運行により、四国への誘客促進や鉄道のご利用促進に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
10,800人	12,156人	112.6%

- ◆ 検証結果
 - ・「伊予灘ものがたり」の南予運転、「四国まんなか千年ものがたり」のスイーツ紀行、「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」のおきゃくのものがたり等の特別運転を実施しました。
 - ・台湾AGTによる貸切利用が計16回ありました。
 - ・3月よりものがたり列車内でクレジットカード決済を含む電子決済手段を追加導入し、より便利にご利用いただけるようになりました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・2024年7月でもものがたり列車誕生10周年を迎えることからプロモーションを強化することで機運を高めるとともに継続的なご利用の獲得に努めます。
 - ・2024年度も台湾AGTによる貸切運転での先行予約を受け付けます。(2023年度催行率100%)
 - ・電子決済手段の充実によるお客様の購買意欲向上により、魅力的な高額商品のラインナップ増加を検討するとともに、客単価アップを図ります。
 - ・引き続き周年イベントや特別企画での運転を各列車で実施し、列車の魅力付けを図ります。

2023年度KGI
54,000人 (実績59,001人) **《達成》**



④ 利便性向上によるお客様満足の上

お客様満足の向上を目指し、車両リニューアルのほか、各種サービス・設備の導入拡大に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
デジタルサイネージ導入拡大 (46駅) 駅トイレの洋式化 (坂出駅、丸亀駅、徳島駅、高知駅) みどりの券売機プラスの導入拡大 (高松駅、徳島駅、高知駅) 1200型車両リニューアル工事完了	計画どおり実施済み	○

- ◆ 検証結果
 - ・駅で列車の運行情報を音声に加え、映像でもお知らせできるデジタルサイネージを46駅に新設しました。また、坂出・丸亀・徳島・高知の各駅におけるトイレ洋式化の実施、高松・徳島・高知の各駅へみどりの券売機プラスの導入を行い、お客様の利便性向上に取り組みました。
 - ・1200型は1両のリニューアル工事を完了し、3月20日から営業運転を開始しました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・2024年度はデジタルサイネージの新設をさらに11駅拡大し、多言語案内の充実を図る予定です。
 - ・車両については、快適にご利用いただけるよう、2024年度もリニューアル工事を進めていきます。

2023年度KGI
車両リニューアル工事の完了、
各種サービス・設備の導入拡大 **《達成》**



みどりの券売機プラス



デジタルサイネージ



1200型リニューアル車両

1. (5) 2023年度第4四半期の実績等

⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

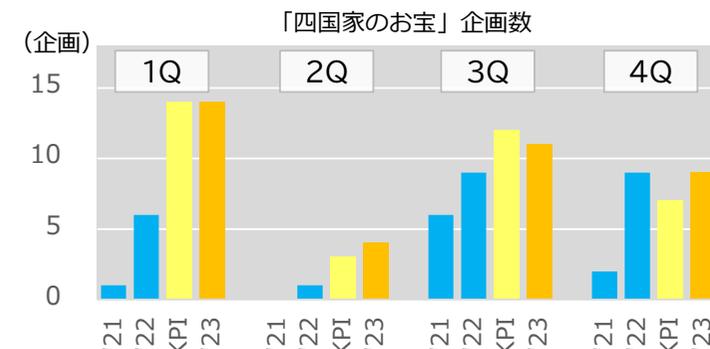
四国の地域資源・文化資源を掘り起こし、地域と協働して観光素材へ磨き上げ旅行商品として販売することで、観光による地域活性化に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
7企画 (参加人数150人)	9企画 (参加人数 208人)	○

- ◆検証結果
 - ・3Qに予定していた企画のうち、1企画が4Qに変更になりました。
 - ・四国家サポーターズクラブHigh schoolプロジェクトによる高校生企画、四国4国立大学との連携事業による大学生企画「地域観光チャレンジ」を新規設定しました。
- ◆今後の取組み
 - ・引き続き、自治体や関係団体との連携を深度化し、地域ビジネスになり得る観光コンテンツの開発につなげていきます。
 - ・持続可能な観光ビジネスモデルの構築を目指して、各コンテンツの高付加価値化(少人数・高単価)に取り組みます。

2023年度KGI

36企画 (参加人数700人) 《一部達成》
(実績38企画 (参加人数690人))



⑥ 連結売上高の確保

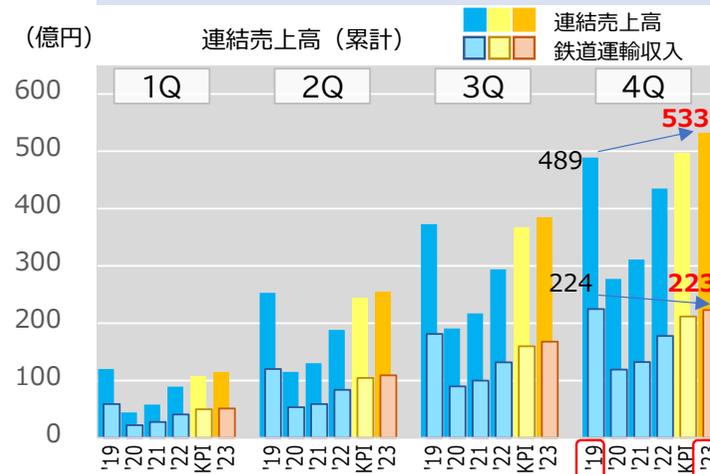
非鉄道事業のさらなる収益拡大に向け、グループ一体となった取組みにより、コロナ禍前の2019年度を上回る連結売上高を目指します。

4Q KPI 累計	4Q 実績 累計	達成状況
496億円 (鉄道運輸収入212億円)	533億円 (鉄道運輸収入223億円)	○

- ◆検証結果
 - ・各種イベントやキャンペーンの展開、地域・期間限定やおトクな商品の設定等に取り組み、需要喚起に努めました。また、利便性向上施策にも取り組み、より便利に、快適にご利用いただけるように努めました。
 - ・2024年3月22日、「TAKAMATSU ORNE (タカマツオルネ)」を開業させました。開業以来、多くのお客様にご来館いただいています。
- ◆今後の取組み
 - ・今後もグループ一体で収益拡大に向けた各種施策への取組みを継続します。

2023年度KGI

496億円 (実績533億円) 《達成》



1. (5) 2023年度第4四半期の実績等

⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高

行動様式の変容やお客様のニーズに対応し、幅広いお客様にご利用いただける取組みやサービスレベル向上に努めます。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
16.5億円	17.6億円	107.1%

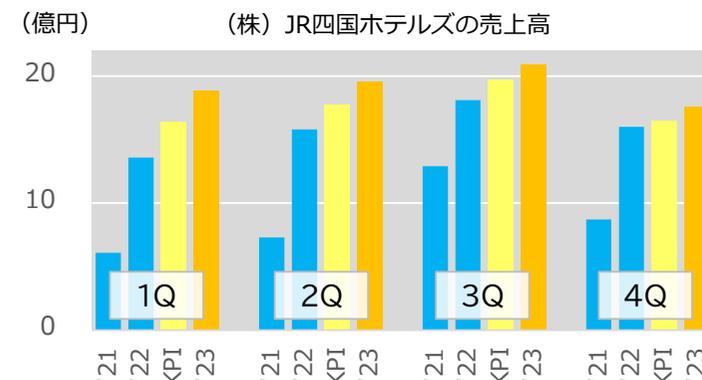
◆検証結果

- 国内の個人・団体に加え、訪日外国人客の増加により、宿泊部門を中心に売上確保に努めるとともに、宿泊客の朝食喫食数の増加、宴席需要も回復傾向となった結果、計画を達成しました。

◆今後の取組み

- 安全・安心で上質なサービスの提供を基本とし、行動様式の変容やお客様ニーズに対応しながら、更なる需要拡大が見込まれる訪日外国人客を確実に取り込み、引き続き宿泊部門を中心に売上確保に努めます。

2023年度KGI
70.4億円 (実績77.3億円) 《達成》



⑧ 四国キヨスク (株) のコンビニ店・土産店部門売上高

生活スタイルの変化等に対応するとともに、地元のお客様に向けた商品の品揃えを強化します。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
8.8億円	11.1億円	126.5%

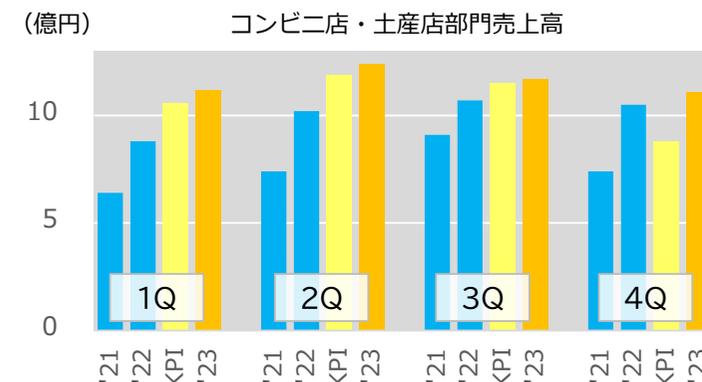
◆検証結果

- コンビニ店においては「プライチ」をはじめ各種販売促進にチャレンジしました。
- 土産店においては、地域限定・期間限定・話題商品等お客様に訴求効果の高い商品の仕入販売をしました。また、3月にはP B商品をはじめ19の新規商品開発をしました。
- 販売地区限定の人気菓子を販売することで話題作りにも努めました。

◆今後の取組み

- 客数が低迷するなか「固定客の確保」「来店頻度のUP」等、ご利用いただくお客様を増やす行為として接客の「基本四原則」の徹底に努めます。
- 引き続き各種販促に果敢にチャレンジします。

2023年度KGI
43.0億円 (実績46.5億円) 《達成》



1. (5) 2023年度第4四半期の実績等

⑨ コスト削減の取組み

業務のデジタル化や安全に影響しない修繕費等の見直しにより、グループを挙げてコスト削減に取り組みます。
省力化・省人化による生産性の向上を図り、鉄道事業を中心に要員削減を進め、成長分野へのシフトを図ります。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2023年度KGI 《達成》
JR四国▲0.4億円、 グループ会社▲0.1億円	JR四国▲0.8億円、 グループ会社▲0.1億円	○	JR四国▲1.8億円、グループ会社▲0.4億円 要員削減に向けた取組みの推進（▲35名程度）

◆ 検証結果

(JR四国)

- ・業務のデジタル化、安全に影響しない修繕費の見直し、ダイヤ改正による動力費削減等の更なるコスト削減に取り組みました。

(グループ会社)

- ・各社において、要員の見直しや広告宣伝費の削減等に取り組みました。

◆ 今後の取組み

- ・これまでの施策を継続するとともに、新たな施策も検討し、引き続きコスト削減に努めます。

2023年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目			KPI		実績	達成状況
鉄道運輸収入の安定的な確保	① 鉄道運輸収入の確保 KGI: 鉄道運輸収入212億円 実績: 223億円 《達成》	運輸収入 (定期)	1Q	10.6億円	10.5億円	99.2%
			2Q	10.8億円	11.3億円	104.8%
			3Q	11.5億円	12.3億円	107.3%
			4Q	10.6億円	11.5億円	108.6%
		運輸収入 (定期外)	1Q	39.0億円	40.5億円	103.8%
			2Q	43.8億円	46.5億円	106.0%
			3Q	43.7億円	46.4億円	106.1%
			4Q	41.2億円	43.9億円	106.5%
	② チケットアプリの定着・拡大 KGI: 取扱収入 定期 463百万円 定期外299百万円 実績: 定期 223百万円 定期外 247百万円 《不達成》	取扱収入 (定期)	1Q	17百万円	22百万円	132.6%
			2Q	55百万円	39百万円	71.1%
			3Q	111百万円	49百万円	44.4%
			4Q	280百万円	112百万円	40.2%
		取扱収入 (定期外)	1Q	46百万円	56百万円	123.2%
			2Q	70百万円	52百万円	75.4%
			3Q	87百万円	63百万円	73.0%
			4Q	96百万円	74百万円	77.7%
	③ ものがたり列車 ・ 藍よしのがわトロッコ乗車人員 KGI: 54,000人 実績: 59,001人 《達成》	1Q	13,500人	14,445人	107.0%	
		2Q	13,900人	15,535人	111.8%	
		3Q	15,800人	16,865人	106.7%	
		4Q	10,800人	12,156人	112.6%	

2023年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目		KPI		実績	達成状況
鉄道運輸収入の安定的な確保	④ 利便性向上によるお客様満足の向上 KGI:車両リニューアル工事の完了、 各種サービス・設備の導入拡大 実績：計画どおり実施 《達成》	1Q	8000系（特急電車）リニューアル材料発注 1200型(ローカル気動車)リニューアル工事設計、材料発注	計画どおり実施済み	○
		2Q	8000系車両リニューアル工事開始	計画どおり実施済み	○
		3Q	サービス改善アンケートの実施 8000系車両リニューアル工事完了 1200型車両リニューアル工事開始	計画どおり実施済み	○
		4Q	デジタルサイネージ導入拡大（46駅） 駅トイレの洋式化（坂出駅、丸亀駅、徳島駅、高知駅） みどりの券売機プラスの導入拡大（高松駅、徳島駅、高知駅） 1200型車両リニューアル工事完了	計画どおり実施済み	○
	⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による 観光振興 KGI:36企画（参加人数700人） 実績：38企画（参加人数690人） 《一部達成》	1Q	14企画（参加人数200人）	14企画（221人）	○
		2Q	3企画（参加人数 30人）	4企画（38人）	○
		3Q	12企画（参加人数320人）	11企画（223人）	×
		4Q	7企画（参加人数150人）	9企画（208人）	○

2023年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目		KPI		実績	達成状況
最大限の収益拡大 非鉄道の業における	⑥ 連結売上高の確保 KGI:496億円 実績：533億円 《達成》	1Q	108億円（鉄道運輸収入 50億円）	114億円（51億円）	○
		2Q	累計 244億円（鉄道運輸収入104億円）	254億円（108億円）	○
		3Q	累計 367億円（鉄道運輸収入160億円）	385億円（167億円）	○
		4Q	累計 496億円 （鉄道運輸収入212億円）	533億円 （223億円）	○
	⑦（株）JR四国ホテルズの売上高 KGI:70.4億円 実績：77.3億円 《達成》	1Q	16.4億円	18.9億円	115.7%
		2Q	17.8億円	19.6億円	110.3%
		3Q	19.7億円	20.9億円	106.3%
		4Q	16.5億円	17.6億円	107.1%
	⑧ 四国キヨスク（株）の コンビニ店・土産店部門売上高 KGI:43.0億円 実績：46.5億円 《達成》	1Q	10.6億円	11.2億円	105.6%
		2Q	11.9億円	12.4億円	104.2%
		3Q	11.5億円	11.7億円	101.4%
		4Q	8.8億円	11.1億円	126.5%
生産性向上 その他	⑨ コスト削減の取組み KGI:JR四国▲1.8億円、グループ会社▲0.4億円 要員削減に向けた取組みの推進（▲35名程度） 実績：コスト削減 JR四国▲2.9億円、グループ会社▲0.6億円 要員削減に向けた取組みの推進 《達成》	1Q	JR四国▲0.4億円 グループ会社▲0.1億円	JR四国▲0.7億円 グループ会社▲0.1億円	○
		2Q	JR四国▲0.4億円 グループ会社▲0.1億円	JR四国▲0.7億円 グループ会社▲0.1億円	○
		3Q	JR四国▲0.4億円 グループ会社▲0.1億円	JR四国▲0.7億円 グループ会社▲0.1億円	○
		4Q	JR四国▲0.4億円 グループ会社▲0.1億円	JR四国▲0.8億円 グループ会社▲0.1億円	○

2. 2024年度の主要施策KPI等

(1) 主要施策KPIについて

○中期経営計画2025及び2024年度事業計画の達成に向け、2024年度の主要な施策に対するKPI及びKGIを設定します。

○以下の9項目について、KPI及びKGIを設定し、取り組んでまいります。

(2) 検証項目一覧

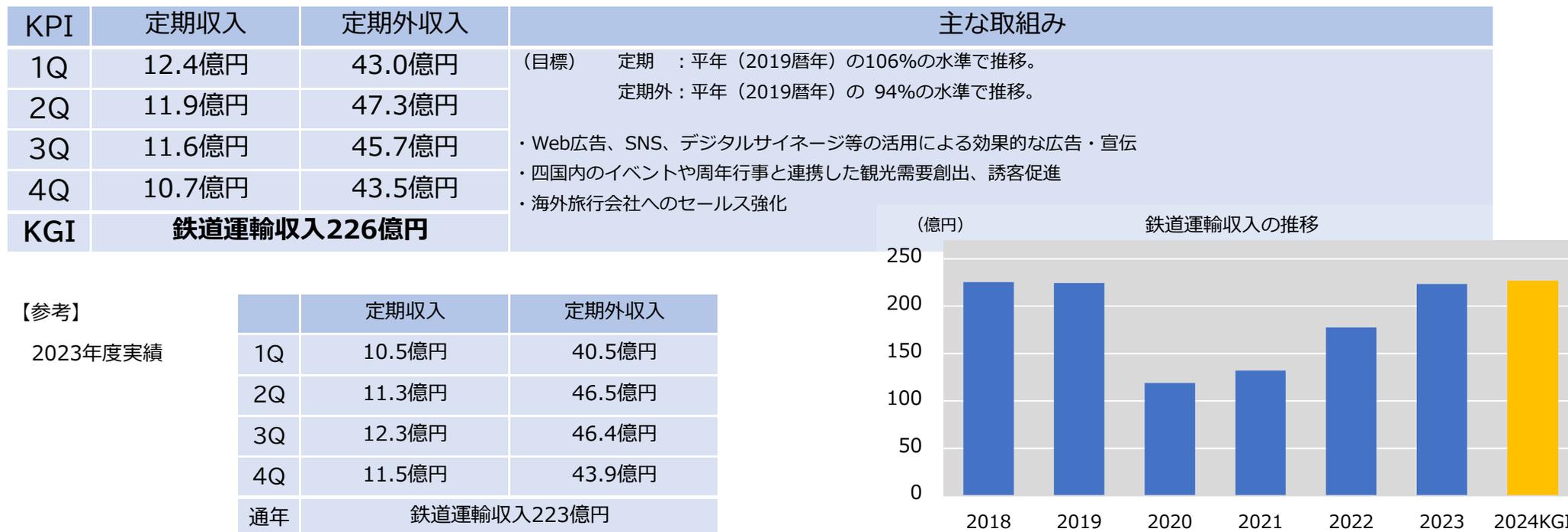
	KPI項目
鉄道運輸収入の安定的な確保	① 鉄道運輸収入の確保 ② チケットアプリの定着・拡大 ③ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大 ④ 利便性向上によるお客様満足度の向上 ⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興
非鉄道事業における 最大限の収益拡大	⑥ 連結売上高の確保 ⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高 ⑧ 四国キヨスク(株)の売上高
生産性向上・その他	⑨ コスト削減の取組み

2. (3) 2024年度のKPI・KGI

① 鉄道運輸収入の確保

当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益確保に取り組みます。

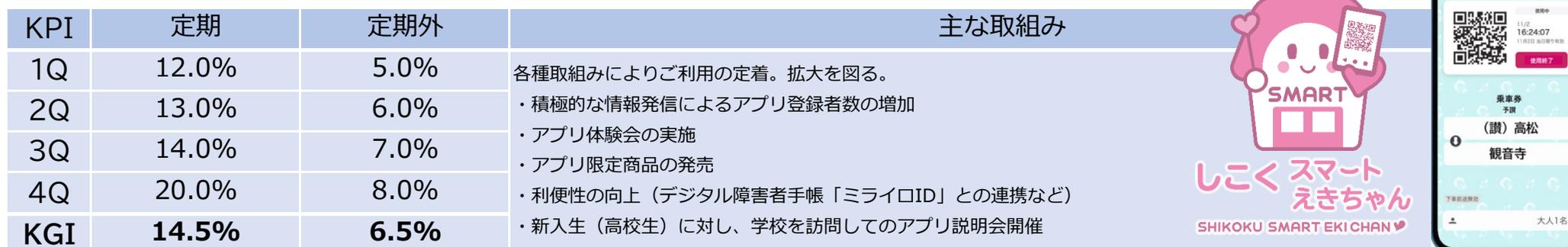
各種施策に取り組み、事業計画の鉄道運輸収入226億円（対2023年度実績 101.4%、対2019暦年 96.1%）達成を目指します。



② チケットアプリの定着・拡大

2023年度から本格稼働したチケットアプリについて、2023年度に引き続きご利用の定着・拡大に取り組みます。

取扱収入（当社内完結）に占めるチケットアプリの割合について、KPI・KGIを設定します。



2. (3) 2024年度のKPI・KGI

③ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大

ものがたり列車、藍よしのがわトロッコの乗車人員について、KPI・KGIを設定します。

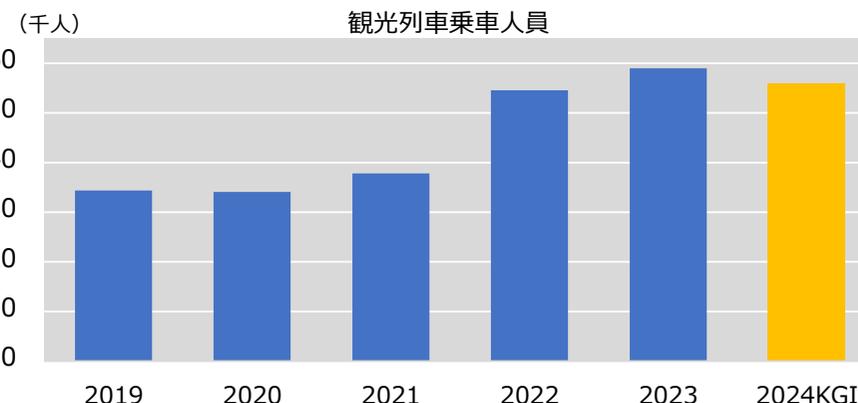
主な施策として、以下に取り組みます。

- ・ものがたり列車デビュー10周年記念イベントの開催
- ・車内サービスのブラッシュアップ
- ・パブリシティやSNSを効果的に活用した積極的な情報発信

KPI	観光列車乗車人員
1Q	15,000人
2Q	15,000人
3Q	16,000人
4Q	10,500人
KGI	56,500人



【参考】2023年度実績：59,001人



④ 利便性向上によるお客様満足の上

お客様満足の上を目指し、車両リニューアルのほか、各種サービス・設備の導入拡大に取り組みます。

KPI	
1Q	1200型車両リニューアル工事完了 (1両)
2Q	8000系車両リニューアル工事完了 (L編成1本)
	1200型車両リニューアル工事完了 (1両)
3Q	サービス改善アンケートの実施
	8000系車両リニューアル工事完了 (S編成1本)
4Q	1200型車両リニューアル工事完了 (1両)
	デジタルサイネージの導入拡大 (11駅)
KGI	車両リニューアル工事の完了、各種サービス・設備の導入拡大

【車両のリニューアル予定】

8000系車両 2編成 [L編成 (5両) ×1本、S編成 (3両) ×1本]、
1200型車両 4両

【デジタルサイネージ拡大予定】

予讃線・内子線：内子～北宇和島 11駅



8000系リニューアル車両



1200型リニューアル車両



デジタルサイネージ

2. (3) 2024年度のKPI・KGI

⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

四国の地域資源・文化資産を掘り起こし、地域と協業して観光素材に磨き上げ、観光による地域活性化を目指す「四国家のお宝」の企画数について、KPI・KGIを設定します。

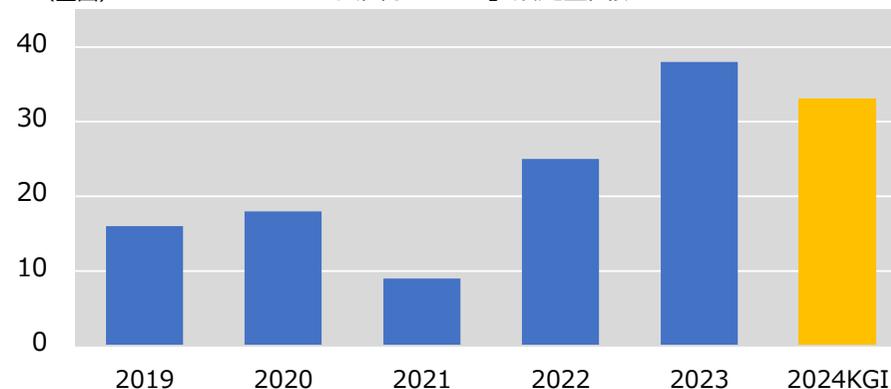
- ・四国固有の自然・文化・食などを活かしたコンテンツの更なる充実化、体感・共感型へのブラッシュアップに取り組みます。

KPI	設定企画数	
1Q	7企画	(参加人数 80人)
2Q	3企画	(参加人数 60人)
3Q	16企画	(参加人数 300人)
4Q	7企画	(参加人数 160人)
KGI	33企画	(参加人数 600人)

【参考】2023年度実績：38企画



(企画) 「四国家のお宝」設定企画数



⑥ 連結売上高の確保

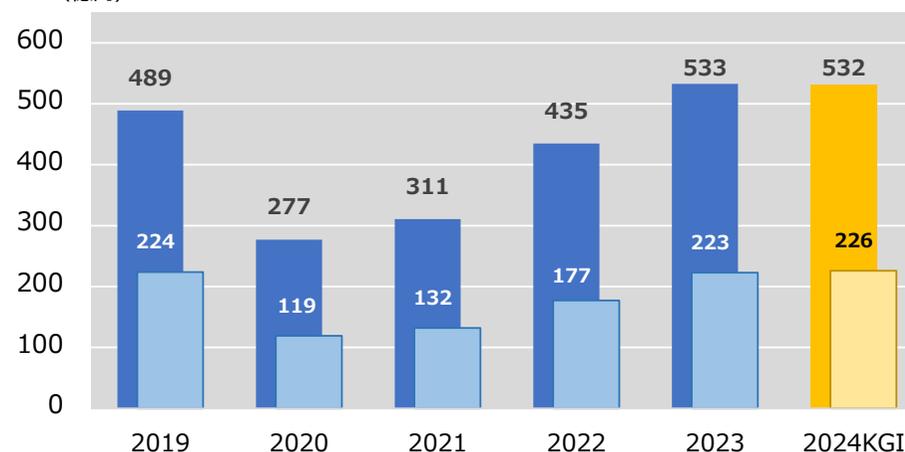
非鉄道事業のさらなる収益拡大に向け、グループ一体となった取組みにより、連結売上高を確保します。

KPI	連結売上高 (累計)	
1Q	126億円	(鉄道運輸収入 55億円)
2Q	258億円	(鉄道運輸収入 114億円)
3Q	392億円	(鉄道運輸収入 172億円)
4Q	532億円	(鉄道運輸収入 226億円)
KGI	532億円	(鉄道運輸収入 226億円)

【参考】2023年度実績：533億円



(億円) 連結売上高推移



2. (3) 2024年度のKPI・KGI

⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高

(株) JR四国ホテルズの売上高について、KPI・KGIを設定します。

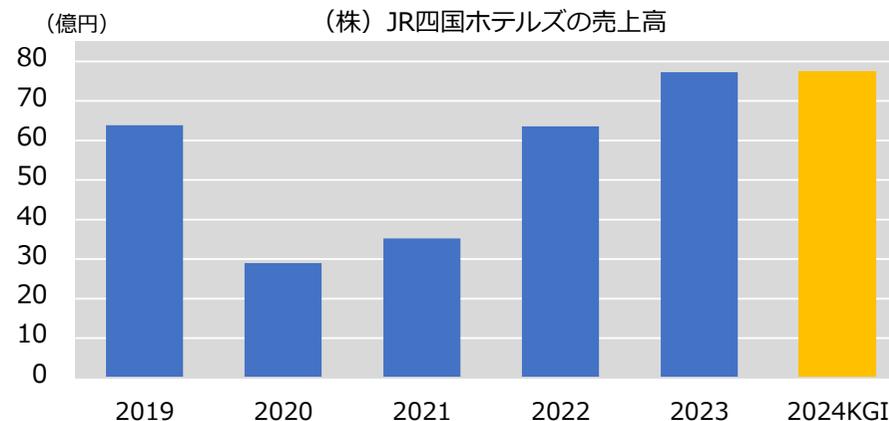
- ・お客様ニーズに対応した安全・安心で上質なサービスの提供に努めます。



JR SHIKOKU HOTELS

KPI	売上高
1Q	19.6億円
2Q	20.2億円
3Q	20.3億円
4Q	17.2億円
KGI	77.5億円

【参考】2023年度実績：77.3億円



⑧ 四国キヨスク (株) の売上高

飲食・物販セグメントの中心事業である 四国キヨスク (株) の売上高について、KPI・KGIを設定します。

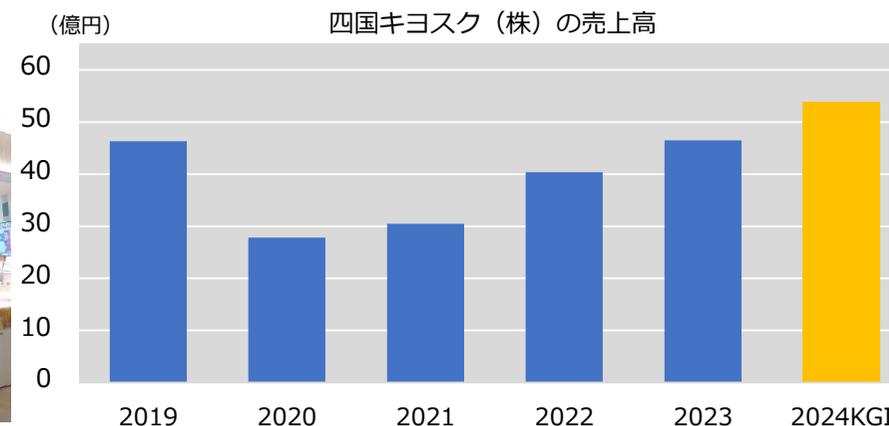
- ・「お客様第一」の視点で高品質なサービスの提供に取り組みます。

あなたの笑顔が、旅をかざる。

Kiosk
SHIKOKU

KPI	売上高
1Q	12.2億円
2Q	14.3億円
3Q	14.3億円
4Q	12.9億円
KGI	53.9億円

【参考】2023年度実績：46.5億円



2. (3) 2024年度のKPI・KGI

⑨ コスト削減の取組み

グループを挙げてコスト削減に取り組みます。

- ・デジタル基盤の活用や業務の見直し等、省力化・省人化による生産性の向上を図ります。
- ・鉄道事業を中心に要員削減を進め、成長分野へのシフトを図ります。

KPI	
1Q	コスト削減（JR四国 40百万円、グループ会社 5百万円）
2Q	コスト削減（JR四国 52百万円、グループ会社 5百万円）
3Q	コスト削減（JR四国 53百万円、グループ会社 5百万円）
4Q	コスト削減（JR四国 48百万円、グループ会社 5百万円）
KGI	コスト削減（JR四国193百万円、グループ会社20百万円） 要員削減に向けた取組みの推進（数値は今後精査）

【参考】2023年度実績：JR四国2.9億円、グループ会社0.6億円